



1、佐久消防署での表彰式。 2、佐久平イオンでの受賞ポスターの展示風景。
3、「人の心に寄り添った作品」と語る、川上第二小学校4年生林一花さん。



防災防運動の一環として、小4～小6年生を対象に「第15回佐久広域連合防火ポスター展」表彰式が昨年11月8日、佐久広域連合消防本部で行われました。735点の応募の中から川上村からは川上第二小学校の林一花さんに、柳田佐久広域連合長から表彰状と記念品が贈られました。

子どもたちの一生懸命描いた作品で、防火意識を高め、火災予防の普及啓発に繋がりたいと願います。

目次

- | | | | |
|---|--------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1 | 防火ポスター展
優良賞受賞 | 5 | 鯀の眼
教育委員会だより
動物バトンリレー |
| 2 | 小学校統合について
(政策調整室・
教育委員会) | 6 | お嫁さんたち交流会
公民館の動き
戸籍の窓口
一喜一憂 |
| 3 | ニューフェイス | | |

統合小学校への 要望

館報では若妻会にアンケートを実施。子育て世代から様々な要望が届きました。

◆建設・設備面

- ・冷暖房などの環境設備。
- ・学校周辺の安全対策(用水路の転落防止柵、周辺道路の整備など)。
- ・安心できる通学路の整備。
- ・大勢の保護者が利用できる広い駐車場の完備。
- ・不審な人物や野生の動物から子どもを守れる学校にしてほしい。

◆環境・教育

- ・パソコンなどを含め、教育環境を充実させてほしい。
- ・教職員の人数や体制など、学校の中の変化も知らせてほしい。
- ・子どもがのびのびと生活ができ、しっかり学べるようにしてもらいたい。

◆情報・周知方法

- ・情報を得るのが難しいので、わかりやすい資料を提示してほしい。
- ・簡単に情報を知るための情報収集システムの構築。

どうなるの？ バス通学

上地区はバス通学になると思われます。

付随してバス通学の対象地区を検討する必要があります。大深山のように統合することで通学距離が延びる地区は、下地区でもバス通学を考えなければなりません。

また、防犯面や安全面を考慮すると、諸外国のように児童全員のバス通学も視野に入ってきます。運行時間についても、それぞれの登下校に合わせた対応が求められます。

バス通学による体力低下を懸念する声も聞かれますが、保護者の意見も取り入れながら様々な観点からの検討が必要です。

旧校舎の利用方法は？

上地区では小学校がなくなると寂しくなるので、人が集まるような公共の施設を造ってほしいという意見が出ています。

全国的には閉校になった校舎を利用して企業誘致をしたり、取り壊して公園を作る例もあります。

地元での活用を考えると多目的施設として使用、各種団体の利用、実習生の講習に使うなど活用法は様々です。しかし、老朽化が進んでいるので修繕は必須です。

県には廃校の活用事業があるので、参考にしながら有益な活用法を考えていければと思います。

子どもたちの安全性と安心感は？

校舎内のバリアフリーはもちろん、エレベーターの設置なども検討し、子どもたちが安心して過ごせる施設になります。

支援学級も各学年と同じようにひとつの学級と捉えていますので、統合後も取り組んでいきます。教室の設置も検討します。

防災対策は大丈夫？

河川が近いので不安に思われる方もいらっしゃいますが、土地を高くするなどの対策が行われます。耐震設計も設計基準に入っており、安心・安全を確保できる強い施設となります。

ただ、風水害の場合は訓練の通り保護者に迎えに来ていただいて、速やかに下校させる方針です。小中学校の両方にお子さんのおられるご家庭は、同時に引き取ることができるので安心だという声も聞いています。

災害時の村民の避難所としての役割も想定しています。

児童クラブはどうなるの？

現在、上地区は旧第二保育園、下地区は原公民館を利用しています。現状での継続を考えると送迎の問題が出てきます。保護者が送迎するのか、バスを出すのがいいのか。

以前から要望のあった児童館新設の案もあります。小学校の統合に合わせて児童クラブも一つにすることで、利便性が良くなり指導員の確保も容易になると考えられます。

様々なニーズに合わせて、子育て環境の充実を図っていきます。



子どもたちの教育に大きく関わる小学校の統合。今後も住民目線での情報発信を行います。



みなさんは小学校統合について、どれだけご存じでしょうか。

令和2年度では建設予定地が検討され、基本構想が策定されました。現在は令和8年4月の開校に向けての準備段階となります。

今回は政策調整室、教育委員会の職員の方々に取材を行い、基本的な疑問について答えていただきました。

そこが
知りたい

統合小学校のあれこれ

情報はどこから知ることができるの？

統合の過程については、随時広報でお知らせしています。また、川上村のホームページにて小学校統合研究委員会での検討内容や、詳細な資料を掲載しています。

幅広い年齢層に知っていただけるよう、LINE や川上村オリジナルの子育てアプリ「カプリ」の活用も検討しています。また住民説明会の開催も考えています。

より多くの方の目に留まるよう、様々なメディアを活用して情報発信していく方針です。

一番の関心事、統合はいつ？

令和8年4月の開校を目指します。スケジュールについては、村議会で審議したものを随時お知らせしていきます。

統合小学校の建設は大規模な工事のため、用地の確保や河川敷の払い下げ、造成工事など校舎建設に至るまでに多くの工程が必要になります。また、建設業界の働き方改革に伴い、現在よりも工期に時間を要します。

開校については事前に引っ越しなどの準備を行い、新年度から新しい校舎でスタートしていただきます。

共有できる施設はあるの？

中学校に隣接して建てるメリットとして施設の共有をイメージしますが、現実的に共有できる施設は少ないと考えています。

最大の理由はカリキュラムの違いです。理科室のような専門的な教室は、使用する器具などが違うので学習内容にあった教室が必要です。また、小学生と中学生では生活のリズムが違うので、個別に利用できる施設が必要になります。

プールにおいては、小学校でも低学年用と高学年用の深さに分けられている上、さらに中学生の使用を考えると共有することはできません。ランチルームは広さに制限があるため、小学生と中学生が同時に使用することは難しいです。

共有できる施設としては、多目的ルームや相談室などを想定しています。体育館などを空いている時間に利用するのは可能だと思います。

先生や子どもたちの行き来は？

教員は県の辞令でそれぞれに赴任しているので、両方で教えることはできません。ALTの先生のように村で雇用している教員であれば、小中学校で授業をすることが可能です。教育内容向上のため、教員同士の交流は図ってほしいところです。

音楽や技術など専門科目において、1人の先生が小中両方で授業をするのは理想的ですが、前例がないので難しいのが現状です。全国的に小中一貫校が増えていきますし、教員不足の問題もあるので今後変わっていく可能性はあります。

小学校校舎は渡り廊下などで中学校に接続する計画になっています。児童生徒の交流はメリットのひとつと考えます。学校生活、学習面、音楽会などの行事を合同で開催するなど様々な可能性があります。また、6年生が進学前に中学校の様子を知ることができ、上級生と面識を持てるのも優位な点です。

令和2年
11月～12月生まれの
赤ちゃんをご紹介

川上村の赤ちゃん

New Face

ニューフェイス

すくすく元気いっぱいな
赤ちゃんをご紹介!!



お兄ちゃんと遊ぶの楽しみ。

大深山 第2子

森泉 れいな 怜奈 ちゃん

11月8日
(両親：和、和菜)

パパ、ママから一言

賢く、思いやりのある人に、実り多い人生を送ってほしいという願いを含め、名付けました。毎日たくさんおしゃべりして、にこにこ上機嫌です。



よろしくー♡

原 第1子

岩水 と 翔生 くん

11月1日
(両親：一平、真理奈)

パパ、ママから一言

毎日たくさん笑って元気に遊びます♪
これからたくさんの人に遊んでもらえるのが楽しみです!



甘えん坊の末っ子長男!!

居倉 第5子

伊藤 あらた 新 くん

11月25日
(両親：浩輝、満季)

パパ、ママから一言

第1子誕生の頃から、男の子が生まれたら付けたいとパパが言っていた名前を、ようやく付けられました!
上の子たちはお風呂が大好きな赤ちゃんでしたが、新は毎日お風呂になると泣いています。



よろしくおねがいます♪

御所平 第2子

由井 れい 玲羽 ちゃん

11月19日
(両親：勇矢、実来)

パパ、ママから一言

自由にのびのびと育ち、誰とでも仲良くなれる子になってほしいです。



むぎちゃんです♡

梓山 第2子

伊藤 むぎ 麦 ちゃん

12月4日
(両親：裕樹、愛里)

双子の
姉妹です

パパ、ママから一言

名前は覚えてもらいやすいよう、音のかわいさで選びました。どんな子に成長してもいいので、幸せになってほしいです。



ういちゃんです♡

梓山 第1子

伊藤 うい 初 ちゃん

12月4日
(両親：裕樹、愛里)

トレニングルーム講習について

由井 健

ヘルシーパークで健康運動指導士を勤められている、由井健さんにお話しをお聞きしました。

Q1 いつから講師をしているのですか

トレニングルームができた時(平成10年)からです。

Q2 ヘルシーパークで健康運動指導士となったきっかけは

民間スポーツ施設で働くための文部科学省の資格を持っていたので、村から声をかけていただきました。

Q3 トレーニングルームの利用方法は

現在、ランニングマシン、自転車、クライムマシンの有酸素系器具と8台のケーブルマシンがあります。利用希望の方は、保健福祉課

保健係で登録いただくと、自由にトレーニングルームを使用することができます。

Q4 コロナ禍の運動不足とその解消法を教えてください

例年、午前などの一定の時間帯は常連の利用者が多いのですが、コロナ禍により利用者数も増えているようです。はじめは、短い時間、軽い重さで行い、一週間で3回ほど来場できると器具の使い方も覚えて、日に日に使いやすくなっていくと思います。

器具の使用方法がわからない場合でも、各器具に使用方法や写真などありますので、読みながら使ってください。器具の覚えも早くなると思います。ガツリ行わなくても、器具を覚える感じで週に3回も行けば又トレス発散にもなると思います。

Q5 個々の目的に合った指導方法について教えてください

はじめは、自分がその運動をどのくらいの重さで何分できるのか、この器具は何をするためのモノなのかを覚えて運動を始めていけばいいと思います。そして、さらにステップアップする場合は、声をかけていただければ、一緒にメニューやフォームのチェックなど手伝わせていただければと思います。

※由井健さんは毎年12月から3月まで、月に3回ほど指導されています。



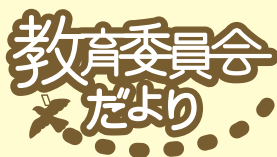
↑講習会の風景

令和3年新規奨学金奨学生募集

社会に貢献する人材を養成するため、経済的理由により修学困難な者に対して、奨学金を無利子で貸与しています。令和3年4月から新規で奨学金の貸与を希望する方を募集します。募集は随時受け付けています。

- 貸与額…(大学等)月額40,000円・(高等学校等)月額30,000円
- 貸与期間…学校の正規の修学期間
- 返済方法…卒業後1年経過してから、貸与期間の2倍の期間で返済

なお、貸与には条件がありますので、詳しくは教育委員会までお問い合わせください。(☎97-2600)



動物バトンリレー

伊藤克弘さん 宅(居倉)

■ きなこ 4歳 ♀

種類 ゴールデンレトリバー

結婚してすぐに迎え入れた、我が家の長女きなこです。

建築士事務所の看板犬をしながら、第二人のお世話をがんばっています! ですが、たまに弟たちのおもちゃを壊して怒られます。

グランドを走り回るのが大好き、人が大好き、食べるのも大好き、まだまだ好奇心旺盛です。天気の良い時は庭でくつろいでいるので近くを通ったら遊んでね!!



お嫁さんたち交流会

主旨

結婚5年位のお嫁さんを対象とし、地区を越えての交流を目的とした若妻会主催のイベント。今年で7回目の開催となりました。

日時 令和3年2月24日 9:30~11:30
場所 ヘルシーパークかわかみ中央棟2階交流室
参加者 10名
講師 新海智子さん(原地区)



イベントの内容・流れ

緊張が解れるよう工夫された様々な方法での自己紹介から始まり、楽しくゲーム感覚で相手を知っていきながら自分を解放させられる進行内容に、参加者は時間が経つことに声も表情も明るく弾んでいきました。

特に今年はコロナの影響で、村内や地区でのイベントは中止、自身や子どもの検診等も人との接触を避けた予約制になったりと、人と出会う機会が減り、友達を作りにくい状況だったためか今回は友達同士の参加がありませんでした。

また、これまで実施していた、握手をしたり肩を寄せたりと至近距離での触れ合いもできない分、ウオーミングアップの対話時間をいつもより長めに取ってみたいと講師の新海智子さんは話していました。

ウオーミングアップ後は、チームに分かれてより深い対話を引き起こしながら、趣味や夢・子育てや生活上の悩みなどそれぞれの興味深い意見交換を行ったり、講師による心理学理論を用いた話もあり、様々な気づきに導かれ会話はさらに盛り上がり上がっていました。イベント終了時には各々にモチベーションも高まり、名残惜しく感じながらイベントは無事に締め括られました。

参加者の感想

- 初見の人とたくさん出会えてうれしかった。
- 大人との会話、同世代の人とたくさん話せてうれしかった。
- 悩みや不安を共有でき、みんな同じだと知れて心が軽くなった。
- 子育ては一人つきりじゃないと感じ、頑張っている自分を褒めてあげたくなった。
- 日頃の疲れがほぐれ、良い息抜きになった。

参加決意をした時には、どんな人がいるのか、自分をどこまでさらけ出すのか不安でいっぱいだったようですが、終わる頃にはみんな「参加して良かった!」と、キラキラした目で帰っていました。

取材を終えて

これから川上村を担う若い参加者の輝く笑顔が初々しく印象的でした。交流会を通して一人でも多く友達が生まれ、たくましい成長が期待できるのなら、このイベントの価値ある意義を痛感しました。



イベント終了時には、

お嫁さん同士で一体感が生まれ、大成功の会となりました。

公民館の動き

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事、イベント等自粛しております。

2月12日 館報編集委員会

2月18日 川上村公民館分館長 会議(書面開催)

戸籍の窓口

二月一日〜二月二十八日受付

お誕生おめでとうございます

太田 琉愛 仲吾
原 環奈 麻美

原 環奈 寿子
原 亮太

小林 耕大 梓山
新保 菜那子 東御市

お悔やみ申し上げます

由井 英之 御所平 八六歳
由井 英之 御所平 八六歳
由井みさほ 大深山 九三歳

※この欄は川上村に住民登録されている方を掲載しています。

【訂正とお詫び】

426号9ページに誤りがありました。正規のページを添付いたしますので、前号に差し込んでご覧ください。訂正とともに、ご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。

一喜一憂

コロナ禍を一年経験してみても自分に感じたこと。今までも当たり前だった日常が奪われ、長期間の自粛生活の中で、それ

までの自分は、恒例行事・イベントに参加していれば「充実した人生」が送れていると思込んでいました。ただ慌ただしく流れる時間の中「ただこなす」だけから、コロナですべての行事イベントが中止になったことで、一つの物事を通して得られる気持ちだったり、経験が大切だと気づかされました。改めて自身の価値観を考えさせられた気がします。

それと今まで勢いで決めてしまし、後で後悔することなど多々ありましたが、コロナ禍で物事を一つ一つじっくり考える大切さ、余裕をもって行動すること、この一年自分を見つめ直すことができたのが、大きな変化だと感じました。

今後はコロナワクチンなどをみんなが接種できる体制が整ってくると思いますが、引き続き気を抜かず、感染予防を徹底していき、みんなが平穏で安心できる日が来ることをただただ願います。

編集委員 ⑩

【村 勢】

総面積 209.61km² 総人口 3,677人
男 1,889人
女 1,788人
世帯数 1,192戸

(2月28日現在)